



研究テーマ

## 珠洲焼復興プロジェクト 知らなかった珠洲焼の魅力・みんなで創ろう珠洲焼

目的・概要

珠洲焼は、中世の日本を代表する陶磁器のひとつで12世紀後半頃から15世紀末頃に石川県珠洲市付近で生産された。それは古墳時代から平安時代にかけて焼かれた須恵器の技法を受け継ぎ焼成されていた物である。約400年前に忽然と姿を消した珠洲焼は冷却炭化焼成された黒い焼き物で、それは現代空間でも十分魅力的で、1977年に珠洲市が復興させ現在まで、現代に即した珠洲焼の振興を目指している。珠洲市にある珠洲焼資料館より金沢美大に珠洲焼の魅力を蘇らせ現代に即した新しい珠洲焼の作品制作の依頼があり、珠洲焼復興プロジェクトとして2009年よりスタート、2010年に継続して行った事業である。2009年10月の珠洲焼復興30周年を記念して、珠洲市が主催する珠洲焼シンポジウムに向けて、珠洲焼の魅力新たな視点で既成に捉われない作品を制作し、昔の珠洲焼の窯を再現した実験窯により当時の焼成を試みた。2010年は実験窯から恒久的再現窯の築窯のための焼成試験として、テーマ「珠洲の音」を設定し作品を制作し焼成した。いにしへの音を求めた作品の展示は2010年12月珠洲焼資料館に展示、来場者の投票を参考に資料館の所蔵作品とされ、改装中の2階ギャラリーに展示される。

委託者

石川県珠洲焼資料館

期間

2009年4月～2011年3月

担当教員

工芸科専攻 板橋 廣美 教授 山本 健史 教授  
宮永 春香 講師 戸出 雅彦 非常勤講師

参加学生

2009年度参加	工芸科・工芸陶磁専攻 博士3年	清水香
	工芸科・工芸陶磁専攻 博士2年	出和絵理 李一烈
	工芸科・工芸陶磁専攻 修士2年	佐合道子 斎藤啓司
2009年度・2010年度参加	工芸科・工芸陶磁専攻 修士1年	神谷麻穂 坂本航 四井雄大 高島未帆
	工芸科・工芸陶磁専攻4年	岩村遠 佐藤恵美 薄井歩 山上裕香 山岸青矢
	工芸科・工芸陶磁専攻3年	片石憂衣 奥村結 谷沢みな美 近藤俊介 渡辺暁奈
2010年度参加	工芸科・工芸陶磁専攻2年	青山春香 板屋成美 武内佑子 中田利枝 三輪紗千

## Process

### 視察旅行

珠洲焼資料館にて歴史を学ぶ。  
500年前珠洲古窯を見学。



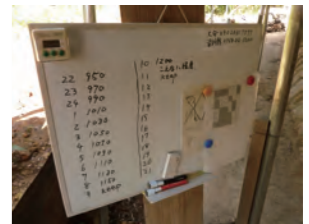
### 制作・搬入

大学で制作した作品を珠洲までトラックにて搬入。



土は資料館から大学に届けられた珠洲の土と、大学にあった黄土を含む土(中国黄土)、大島耐火土黄土、信楽水簸土、信楽黄土等を土練機で混ぜて土を作った。夏休みは作品制作のため学校に留まり、焼成は、授業の隙間を縫ってローテーションを組み、参加者全員の協力でプログラムを完結した。

### 窯詰め



### 窯炊き

窯焚きの初日ゆっくりと窯を焙りながら湿気をぬく。



### 完成



### 展示

ラポルト珠洲にて野外展示。  
珠洲焼資料館にてロビー展示。

